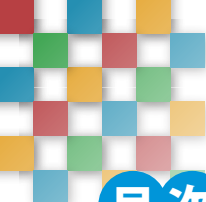




社会学類 への 招待



A Guide to
College of Social Sciences,
University of Tsukuba



目次

ようこそ社会学類へ	1
筑波大学について	2
社会学類について／カリキュラム	3
各主専攻の紹介	
●社会学主専攻	4
●法学主専攻	6
●政治学主専攻	8
●経済学主専攻	10
4主専攻から	12
「社学生」の生活	14
卒業生の声	16
卒業生の進路／主な就職先	18
入学案内	20
交通案内／筑波研究学園都市	21

ようこそ社



Welcome to College of Social Sciences,
University of Tsukuba



経済学主専攻教授
社会学類長
篠塚 友一

社会学類へ



生きること

我々は、よりよき生を目指して、自分自身、あるいは自分を取り巻く環境を理解しようと努力し、環境の変化を予測し、自らの意思で環境の一部を自分たちの望む方向に変化させようと努力します。この過程で、知識を獲得し、理解するという学習活動が根柢的に重要な役割を果たします。ところで、学習効率を高めるためには、「学び方」それ自体に工夫をこらす必要があります。わが畏友たちが、異口同音に指摘するように、大学の本質的な機能は、「良い学び方」を学ぶための様々な機会を提供することにあります。環境の変化によって、「役に立つ」知識は容易に陳腐化しますが、「良い学び方」は、相対的に耐久的です。我々は、みなさんが「良い学び方」を学ぶための手助けをしたいと考えています。

社会学類とは

社会を構成する人と人との関係の性質や、制度と人との関係の性質などについて考察するのが社会科学の目的です。社会学類を構成する社会学、法学、政治学、経済学は、それぞれ社会科学の専門分野です。これら4つの学問分野で採用される視点（ものの見方）やアプローチは異なりますが、一定の視点から首尾一貫した説明を与える点では共通です。

現代社会を生きる

現代社会を生きてゆく上で、グローバリゼーションという現象を多角的な視点から理解することは必要不可欠です。新聞、ニュース、あるいは、書籍などで「グローバリゼーションによって国際貿易や海外直接投資（企業が外国に工場などを建設すること）は増加したが、食品の安全、環境破壊や所得の不平等化が進んだ」というような主張を見かけることがあります。しかし、この主張（の少なくとも一部）は、事実と反しているか、あるいは根拠のない思い込みでしかないことに注意すべきです。社会学類で開講されている科目を履修することを通じて、言論一般に対する健全な批判精神を涵養されることを願って止みません。

大学で学ぶこと

大学受験の勉強を一生懸命していると、まるで全ての学問分野はほとんど完成の域に達していて、受験生はそれをできる限り理解し暗記するだけであるというような印象を持ちがちです。実際は、どの学問分野も未完成です。それどころか、ある問題が解かれると同時に関連する問題が見つかることがよくあります。その結果、未解決の問題の数が以前よりも増加します。その一方で、ある問題を考察することで、これまで未解決だった別の問題の解決への糸口が見つかることもあります。面白いと思いませんか？

筑波大学について

筑波大学は、百余年の伝統をもつ東京教育大学を引き継ぎ、1973年10月に「新構想」大学として、学際的な教育・研究を行うこと、社会的にも国際的にも開かれていることを目的に開学し、2013年には40周年を迎えます。長い歴史をもつと同時に、新たな伝統を創りつつある大学といえましょう。

東京の近郊、関東平野の中ほど、筑波山の南に広がる筑波研究学園都市（行政上は、茨城県つくば市）の一角に、全国でも有数の広大なキャンパスを占める本学の、他大学と異なる特徴は、次にあります。

- ①学部制に代えて、学生を教育するための組織である学群・学類を設けたこと。
- ②前期2年の教養学部を廃止して、入学直後から大学としての専門教育を開始し、外国語や総合的な教養科目を効率的に配置したこと。

社会学類は開設以来、人文学類、自然科学類とともに第一学群を構成してきましたが、社会情勢の変容や社会が求める大学像の変化などを踏まえ、平成19年度から社会・国際学群に属する2学類の1つとなりました。社会学類は30年以上も積み重ねてきた成果を大事にしながら、新しい学群とともに構成する国際総合学類と協力しあって、社会科学分野における総合的・専門的な教育を一層充実させることを目指しています。たとえば主専攻ごとに、必要に応じて国際総合学類との共通科目が設定さ

れており、社会学類生は国際総合学類の科目を履修しながら、社会学類の卒業に必要な単位を取得することができます。

さらに、社会学類生は、社会学類の科目に限らず、さまざまな他学群・学類の講義を受けることもできます。

筑波大学の学群・学類

人文・文化学群 …… 人文学類、比較文化学類、
日本語・日本文化学類

社会・国際学群 …… 社会学類、国際総合学類

人間学群 …… 教育学類、心理学類、障害科学類

生命環境学群 …… 生物学類、生物資源学類、地球学類

理工学群 …… 数学類、物理学類、化学類、
応用理工学類、工学システム学類
社会工学類

情報学群 …… 情報科学類、情報メディア創成学類、
知識情報・図書館学類

医学群 …… 医学類、看護学類、医療科学類

体育専門学群

芸術専門学群



社会学類について

社会学類は、社会科学を総合的に教育することを目的とし、同時に専門の内容を深めるために3～4年次は社会学・法学・政治学・経済学の4主専攻に分かれます。他の大学に当てはめて言えば、社会学部（ないし文学部社会学科）、法学部（法律学科・政治学科）、経済学部それぞれ所属しながら、他学部（他主専攻）の勉強をすることも可能であり、かつ必要というわけです。

人間はとすると、「深ければ、狭く」「広ければ、浅く」なりがちですから、ひとつの主専攻を深く、かつ他の主専攻を広く勉強することは、決して容易なことではありません。しかし、現代の複雑な社会問題はそのような勉強を要求していますし、またそれに応える勉強は楽しいものです。

たとえば、主専攻分野の勉強を深めるために、2～4年次においては、少人数形式の入門演習や演習（ゼミナール）が設けられ、活発な討論と深い研究の「場」となっています。また、指定の「教職科目」を修得することにより、教員の資格が得られます。社会学類で取得できる主な免許状（科目）は中学校1種（社会）、高等学校1種（公民）です。

このほか、学生が生きた学問を体感できるように工場見学や施設見学を行ったり、全国的にも珍しい裁判員制度に対応した模擬法廷教室で裁判実務の講義を行ったりしています。

社会学類と関係する大学院

社会科学と関係する大学院が筑波大学には多数設けられており、大学院に進学する学生も増えています。社会学類と最も密接な関わりを持つものとして人文社会科学研究所があり、現代語・現代文化専攻、国際公共政策専攻、法学専攻、経済学専攻の社会系4専攻などが設けられています。その他に教育研究科、生命環境科学研究科、人間総合科学研究科、システム情報工学研究科、ビジネス科学研究科などがあります。

法学分野では、東京大塚に、社会人を対象とした法科大学院（ロースクール）が設置されています。

社会学類を卒業後、上記の大学院を経て、あるいは他大学の大学院（ロースクールを含む）を経て、大学やその他の研究機関、行政機関、法曹界、シンクタンク、マスメディアなどで専門知識を生かし研究を続けることが可能です。そうした多くの先輩が活躍しています。

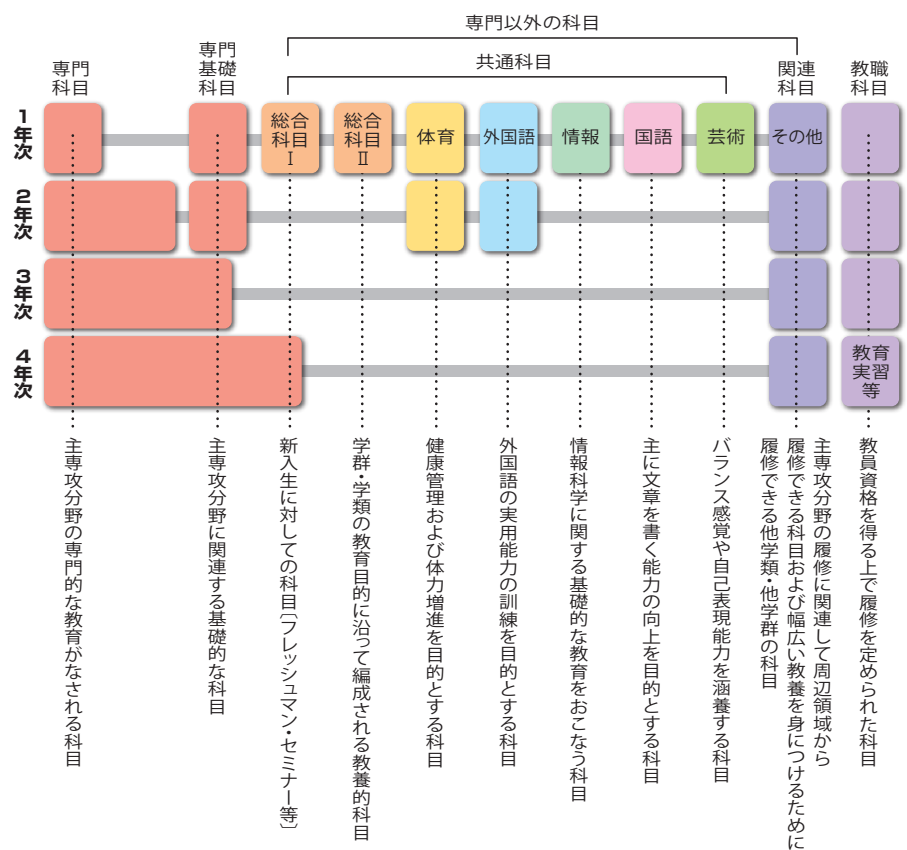
Curriculum

カリキュラム

筑波大学の授業は、従来の大学に多く見られるような教養課程と専門課程という段階的な区分を設けず、一般教育的な科目と専門教育的な科目を有機的に総合的に提供しています。

したがって、学生は、1年次から専門分野の学問に触れることができ、また必要と興味に応じて他の幅広い学問分野からも知識を吸収することができます。4年間という期間を計画的に、また自らの関心にしたがって組み立てていくことによって、高校時代には味わうことのできなかった学問の奥深さと面白さを、きっと知ることができるでしょう。

授業は、「専門科目」、「専門基礎科目」、「共通科目」、「関連科目」に大きく分けられます。このうち、「専門科目」では各主専攻の専門分野に関わる知識を、「専門基礎科目」では専門分野に関連する社会科学の基礎的な知識を、「共通科目」では体育、外国語、情報、国語、芸術などを、「関連科目」では専門以外の幅広い教養を学びます。



社会学主専攻

社会学への招待

現代社会の様々な出来事は、思いがけないところで私たちの社会生活に変化をもたらしています。変わりゆく企業組織と家族関係の揺らぎ、新しい宗教現象と若者文化、外国人労働者の増加と地域社会、多様化するライフスタイルとメディア、例を挙げればきりがありません。経済、政治、文化、技術など一見ばらばらに見える社会の各領域も、実は相互に深く関係し合っており、そうした複雑な仕組みに眼を向けることなしには、現代社会を理解することはできません。

社会学は、こうした社会の各領域の成り立ちやそこに発生する問題を、特に私たちの日常生活のレベルから解明すると共に、さらに異なる領域の間に広がる見えない関係の連鎖を、人間や組織・集団の観点から自由に明らかにすることを、課題としています。本学の社会学主専攻では、主として社会問題論（国際移動・犯罪・逸脱行動・労働）、文化論（スポーツ・都市・メディア・知識・歴史）、医療・福祉論（老いと病い・社会保障・介護）を専門とするスタッフが、様々な学生の関心に対応した社会学の「フィールド」を整備しています。（下記の卒業論文タイトル抜粋）を見てみて下さい）皆さんも、私たちが用意したこのフィールドで自由に駆けまわってみませんか？

教育方針と特色

社会学主専攻の科目は、社会学の基礎的な概念や理論を学ぶ社会理論、データを収集し分析するための方法を学ぶ社会調査・社会データ分析、そして家族や地域、産業、福祉、メディアなど個別分野についての社会学に大きく分けることができます。本主専攻では、単に社会理論を教育するだけでなく、現代社会のさまざまな問題に対して自ら頭と足で取り組む能力を養成するため、社会学演習（ゼミナール）と社会調査実習を開設しています。また国際的な視野から日本社会を学ぶことも重視しています。学生は、こうした学習の成果をまとめる機会として、卒業論文に取り組むことになっています。

将来の方向と進路

マスコミ・製造業・金融業・調査研究機関・サービス業などの民間企業や公務員など、きわめて多様な分野へと卒業生は就職しています。また、希望を生かして教員になるケースもあります。さらに、人文社会科学部研究科（国際公共政策専攻社会学分野）をはじめとする大学院に進学することにより、より専門的な研究を続ける道も開かれています。



専門科目講義



東京都庁・都議会でヒアリング



秋葉原見学（社会学演習）

卒業論文タイトル抜粋（平成24年度）

●集团的疑似記憶としての戦争体験～戦争体験の映画・ドラマを通して～ ●大学生の就職活動におけるソーシャル・ネットワーク ●病いの経験と自己像の変容～寺山修司の転換点～ ●中国で働くことの意味～日本人現地採用労働者たちのライフヒストリー ●災害と宗教の社会学 ●つながりたい時代 ●存在論的安心と親密圏の新しいかたち～許容される「異質な他者」～ ●テレビコンテンツの次世代メディア展開 ●郊外における“個性”とまちづくりのいま ●ヴァンフォーレの存在は甲府の地域イメージにいかにか寄与するか ●学校現場をめぐる教師像の比較 ●社会問題としての「ニート」問題の構築 ●「シェアハウス」という新しい暮らし方の可能性 ●医師のインフォームド・コンセントと患者の自己決定 ●ストリート系ファッションに見え隠れする社会性～裏原宿系ファッションについての社会学的考察 ●SNSにみるコミュニケーション ●戦後日本社会における戦争イメージの変容～巨大ロボットマンガ・アニメの受容を通して～ ●現代社会の中での差別とは～境界線で生きる人々の差別体験、主に中国残留孤児家族を中心に～



い が ら し や す ま さ
五十嵐 泰正

「都市社会学」「地域社会学」「社会学演習」「社会調査実習」▶【都市社会学／国際人口移動論】▶「大学の中

に引きこもっている社会学者に、社会の何がわかるんだ」ごもつとも。否定はしません。「社会は社会に出てから肌で覚えるから、社会学なんて知らないよ！」それはどうかな？「社会」には、たくさんの＜社会＞があります。油の匂いの漂う工場にも、深夜のファミレスにも。図書館でちょっと時代を遡れば想像もつかない＜社会＞があるし、海を渡ればちっぽけな予測を軽く裏切る＜社会＞が待っています。そうそう、大学もひとつの＜社会＞です。「社会人」になってから、安易に「社会」がわかった気になって失敗しないために、さまざまなく＜社会＞にまみれながら、いくつもの＜社会＞の成り立ちを自分の頭で考えておく。それが社会学主専攻で過ごす大学生活です。



お く や ま と し お
奥山 敏雄

「組織社会学」「社会学基礎論」「社会学演習」▶【組織社会学／社会システム論／医療社会学】▶教科書に

書いてあることがすべて正しいと思わない態度を身につけることが大切です。社会についてはいろいろな見方や考え方が成り立ちます。様々な社会認識に対して、自分なりの距離を取れるようなタフさが必要なのであって、唯一の正しい見方を教えてくれと求めることは、安住できる宗教を求めるようなものです。大学に入ったら受験の思考回路を早く捨ててください。



か っ ち ゃ ま や す お
葛山 泰史

「知識社会学」「社会学演習」▶【言説分析／知識社会学／フランス政治哲学】▶社会学という学問的な営

みの特徴付けているのは、さまざまな社会(的現象)をその内部から観察することの二重性、つまりは「社会への視線」と「社会からの視線」とが互いに織り成す、ある種の往復運動にほかなりません。その意味で、社会学とは、近代社会の自己観察の営みであるともいえます。私たちの生きる社会への、私たちの生きる社会から向けられる、こうした視線のダイナミズムを、あなたもぜひ一度体験してみませんか。



た る か わ の り こ
樽川 典子

「家族社会学」「ジェンダー社会論」▶【家族社会学／福祉社会学】▶知識を習得する勉強から、学を問う学問

へ。筑波大学社会学類で学ぶ楽しさの一つは、ここにあります。メディアがとりあげる出来事だけが社会でしょうか？人びとの生活のさまざまな事象をつづいて見えてくるものにも注目していきましょう。社会とは大学とは？大学教授は何を考えているのか？わかりやすく知りたい方は、下記の文献を通読してみてください。

▷山下和美『天才柳沢教授の生活』全21巻、小学館



ど い た か よ し
土井 隆義

「現代社会論」「犯罪社会学」「社会学演習」▶【犯罪社会学／法社会学／逸脱行動論／社会問題論】▶

社会生活における様々な病理現象を素材に、社会学的なものの見方について考える授業を行なっています。社会学というパースペクティブから様々な病理現象をながめると、社会と私たちとの関りについて、今まで気づけなかった意外な側面が見えてきます。私たちの生きている世界は、決して一枚の織物ではありません。様々な織り重なった意味の層を探検してみると、重大な社会問題と思われるものが、じつは別の側面で現代社会のシステムを支えていたり、あるいは逆に、望ましいと思われていた理念が、その裏側では病理現象を招いていたりすることが分かってきます。社会病理に対する道徳的な判断も一つの偏見でしかないかもしれないのです。授業をとおして、社会病理をめぐる従来の常識を突き崩す面白さを味わうとともに、社会の中で私たちが生きていく意味についてもぜひ考えて下さい。



の が み げ ん
野上 元

「歴史社会学」「社会学演習」▶【歴史社会学、メディアと情報化の社会学】▶なぜ社会学をやろうと高校

生の頃に考えたのかを思い出してみると、人々の営みを高見から説明することに魅力を感じていたのかもしれない。意外な視点で世の中や人間関係をぱったり斬り、物事の捉え方を変化させて、何気なく見えていた風景を変える…。社会学を学べば、まるで自分が世事から超越し、何か偉い人間になれるのではないかと思ったわけである。ただ、今ならそうは考えない。社会は高見から説明できるようなものではないし、つくづくそれは無力な高校生が頭のなかだけで一発逆転を狙っていたようなものだったと思う。



フアン スンヒー
黄 順 姫

「社会学演習」「調査実習」「スポーツ文化論」「教育社会学」▶【教育社会学／文化社会学／スポーツ社会学】

▶社会学の演習では社会学理論と、フィールドでの調査方法を学び、関心のあるテーマで論文を作成します。たとえば「記憶の社会学」では、記憶の空間、時間、身体論を検討し、同窓会、スポーツ、整形・エステなどの分野からテーマで設定し、ゼミ論を完成します。調査実習では、直接フィールドに出て、たとえば、中等学校の学校現場、同窓会、または新宿大久保コリアタウン、秋葉原などで調査し、報告書を完成します。社会学研究の面白さを堪能してください。



も り な お と
森 直人

「労働社会学」「社会学演習」▶【労働社会学／社会階層論／戦後日本社会論】▶「労働」をめぐる2つの問

題を考察しています。1つは「労働」のあり方を通じて社会の構造的な格差や不平等がもたらされるメカニズム。もう1つは、人が「労働」に必要な知識や技能を身につけ、さらに「労働」そのものによって成長していくプロセス。私たちは社会の「あるべき姿」にむけて「格差是正」や「制度改革」を性急に求めがちですが、そこで前提として自明視されている《常識》はしばしば実態とかけ離れた歪んだ像を描き、善意にもとづく問題解決に向けた介入が「意図せざる結果」をもたらすことも多くあります。社会学はこうした矛盾をはらんだ複雑なメカニズムを解明していくためのツールなのです。

法学主専攻

法学への招待

現代社会の複雑多岐な社会生活は、様々な法律や制度によって運営されており、人としてそこに生きる以上、好むと好まざるを問わず法にかかわらざるを得ません。新聞を開いてみれば、個人のプライバシーとマスコミの取材の自由の問題、少年犯罪、児童虐待の増加等、「法的」な問題を毎日のように目にします。また、国際化の進展にともなって、外国企業の合併や吸収、国際貢献など、外国とのあいだで法的な解決を迫られる場面も増えています。法律というと、一見、日進月歩の科学技術とは異なり、固い、旧態依然というイメージがあるかも知れませんが、決してそのようなことはありません。証券取引の規制、ソフトウェアやバイオテクノロジーの保護や規制、ネット社会特有の諸問題への対応等、新たな法現象が生じてきたこともあって、情報化・国際化の今日、法学には、時代の変化に柔軟に対応することが求められているのです。

教育方針と特色

法学主専攻では、ひろく法にかかわる基礎的な理論・システムの把握を教育の中心においており、そうした教育を通じて、幅広い法的なものの見方、考え方を養うことを主眼としています。基本的な実定法を通じて、現実の法体系を学ぶことで、長い歴史のなかで培われた人間の叡知の豊かさを理解し、その社会的役割を適正に評価することが、なによりもまず求められます。

法学主専攻のカリキュラムは、様々な実定法から、政治学・経済学・社会学・人文関係系統にいたるまで、幅広いものを含んでいますが、そうした科目の学習を通じて得られる、社会生活全体を広い視野で考察する適切妥当な観点と判断力が、まさに法的なものの見方、考え方の現れなのです。様々な法分野の講義から、少人数形式のゼミナールにいたるまで、法的議論の「場」は多々用意されています。

将来の方向と進路

卒業生の就職先は企業・団体など多岐にわたり、国内外で広く活躍しています（うち約2割が公務員）。また、法科大学院へ進学し法曹を目指す卒業生もいます。



大教室での専門科目の授業風景



専門科目の授業風景



模擬法廷を使った授業風景

演習テーマ抜粋（平成24年度）

●文書提出命令を巡る最高裁判所判例の検討 ●民事訴訟法に関する最新の最高裁判所判例の検討 ●災害復興としての都市計画 ●中学生を対象とした法教育の教材作成 ●模擬裁判の台本作成…殺人事件を題材にした… ●時効制度の検討 ●占有制度の検討 ●国際結婚と離婚 ●労働環境における育児支援 ●子どもの非行と親の責任 ●高齢者の扶養・介護はどこまで義務か？ ●株式会社の企業統治に関わる機関 ●サーベラスによる西武HD株TOBの研究 ●アメリカ法制史 ●アメリカ信託法の研究 ●弁護士宅への立ち入り許可交渉 ●因果関係論・違法性論・故意論等の検討 ●刑事手続きの重要問題



おかうえ まさみ
岡上 雅美

「刑法Ⅰ」「刑法Ⅱ」「刑法Ⅲ」▶【刑事責任論／刑罰論／量刑／ドイツ刑法】▶大学とは、知識を増やすだけ

が目標ではありません。大学での4年間(以上?)をどのように過ごすかで、良くも悪くもその人の一生が決まります。「本当に好きなこと」を大学生活の間で見つけてください。それぞれの「本当に好きなこと」を達成するにも努力と正しい戦略が必要なはずです。できるだけ広い視野をもち、いろいろな物の見方ができるということが大切でしょう。いろいろなことを体験し、いろいろな本を読み、そして、是非是非、学生の間に、今まで行ったことのない外国を訪れてみてください。



みやさか わたる
宮坂 渉

「民法総則」「物権」「法制史」▶【民法／ローマ法／西洋法制史】▶皆さんが大学に入学すると、今まで我

が物顔で漕ぎ回っていた小川から突然、広い海へと漕ぎ出した気分になります。行く先は見えず、何処に浅瀬があるかも分からず、不安に思われるかもしれませんが、慌てず、最初は自分のペースでゆっくり漕ぎ始めましょう。慣れてきたら少しずつスピードを上げて。4年間は長いようで短いです。航海に必要な知識を得るためには、講義を聴き、本を読み、演習で報告もこなさなければなりません。外国語の勉強も忘れずに。クラス・ゼミ・サークルで出会った友達は、航海のよき仲間となることでしょう。私たちは皆さんを卒業まで導きます。そして4年後、晴れて一人前の船乗りになった皆さんは気づくことでしょう。今まで海だと思っていたのは大きな河に過ぎず、その向こうに本当の大海原が皆さんを待っていることを。



はぎわら かつや
萩原 克也

「商法Ⅰ(総則・商行為)」「会社法」「有価証券法基礎」「記録債権法」「金融商品取引法」▶【運送法(海上・

航空)／有価証券法】▶商法の分野は複雑に見える部分もありますが、基本は「合理性」を追求した「実用的な制度と解釈」です。マニュアル思考とは違う法的なものの見方・考え方、論理性を習得し、社会にでたら起業家になったり、専門知識を生かして主体的に生きていこうと考えている方を歓迎します。まずは堅苦しく考えずに飛び込んでみてください。



むらかみ まさこ
村上 正子

「民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ」「国際民事訴訟法」▶【国際民事訴訟法／外国判決の承認・執行／弁護士倫理／証拠

法】▶大学での4年間は、今までの受身の学習を通して得た知識を活かしつつ、自分から積極的にどんな学ぶことにより、将来の人生における選択肢を増やす大事な時間です。将来の夢が決まっている人もそうでない人も、できるだけ多くのことに挑戦して下さい。人生において無駄なこと、無駄な知識など一つもない、マイナスをプラスに変えようという前向きな姿勢を持ち、卒業するときに、「いや～、4年間楽しかった!」といえる、そんな大学生活を送って欲しいと思います。私から皆さんへのメッセージは、「意志あるところに道は開ける」です。



ねもと のぶよし
根本 信義

「裁判実務Ⅰ」「裁判実務Ⅱ」「裁判実務演習」▶【裁判実務／法教育】▶4年間はあっ

という間に過ぎてしまいます。知的好奇心を発揮して、いろいろな本を読んだり、さまざまなことにトライしてみてください。そうした中で、さらに夢中になれる何かが見つかれば、あなたの人生にとってきっと大きな財産になるでしょう。推薦したい本は山ほどありますが、最近の新書は、手軽に読めてしかもなかなか奥が深いので、ファーストステップとしてはうってつけです。まずは、橋爪大三郎「人間にとって法とは何か」(PHP新書)、長谷部恭男「憲法入門」(岩波新書)、大屋雄裕「自由とは何か」(ちくま新書)、岡本薫「世間様が許さない!」(ちくま新書)などを读まれることをお勧めします。



もとざわ みよこ
本澤 巳代子

「親族」「民法法概論」▶【家族法／社会保障法／ドイツ法】▶離婚や児童虐待など家族の抱える問題は、家族

の中だけでも、法律知識だけでも解決できません。社会問題や社会政策としての側面、心理的側面なども一緒に考えて、初めて解決の糸口を見つけることができるものです。筑波大学社会学類には、このような総合的視野からの勉学を可能とする科目が揃っています。社会学類を志望する学生諸君には、こうした学類の特徴と利点を理解した上で、大学に来てもらいたいと思います。



ほしの ゆたか
星野 豊

「契約」「債権総論」「信託法」▶【民法／信託法／金融法】▶少なくとも学学生である間は、主専攻とする分野や将来の希望職種にとらわれることなく、幅広く学び、自由に考えることを心がけてください。興味を持つ対象が社会科学の範囲を超えて、他の領域に及んでいくことも、全く差し支えないと思います。逆に言えば、「自分はこの分野を専門としている」ということが、「他の分野のことは分からないし関心もない」ということにならないように、十分注意してください。



もりた ちほこ
守田 智保子

「刑事訴訟法」「刑事政策」「法律外書講読Ⅰ」▶【刑事訴訟法／証拠法】▶大学では、

これまでとは異なることばかりで、戸惑うことも多いかもしれませんが。最初は慣れるのに精一杯でも、いつか自分のペースを掴むことができます。そうしたら、少し立ち止まって下さい。きっとその頃には自分の夢がぼんやりと見つかると思います。他の誰でもない自分でそれを見つけて、少しずつでも寄り道をしながらでも進んでいけば、卒業の頃には、きっとただの「夢」ではなくなるはずです。

政治学主専攻

政治学への招待

今日、私たちは政治の圧倒的な影響のもとに生活しています。実際、国際間でおこった一つの地域的なテロが全世界の市民をその渦中に巻き込み、政府が決定した一つの経済政策の失敗が、国民一人ひとりの生活のすみずみにまで浸透してきています。私たちが政治に関心をもたなくとも、政治が私たちをとらえてはなさないのです。

政治学はこのような政治の世界を理論的、科学的、歴史的に分析し、理解し、同時に政治のあるべき姿を科学的、思想的に考察しようとする学問です。人間・集団・社会・国家に発生するさまざまな利害の対立と解決の様相を研究するこの学問にとって、「人間」に関する多様な認識と深い洞察力は不可欠であり、そのためには、幅広い教養と専門的な知識を吸収しようとする旺盛な知的好奇心が求められます。

教育方針と特色

政治学主専攻では、政治に関する基本的な概念、理論、歴史などを学ぶ基礎的な講義、入門演習を通して、政治学的なものの見方を身につけます。そして、専門科目、専門演習に入って政治理論、政治思想、政治外交史、国際政治等、それぞれ自分の関心領域を決め、研究を深めます。

とくに演習は、少人数、自主的運営を原則とし、テキストの輪読や興味ある研究テーマについての報告、討議を行い、その成果をゼミ論文としてまとめることになっています。

演習はまた、学生の企画、討論への参加を通して自立心を育てる場であるとともに、ゼミ活動を通じて、学生同士はもとより、教員との相互親睦を深め、社会人としてのあり方を具体的に実践する機会を提供してくれるでしょう。

将来の方向と進路

就職先は、マスコミ、金融、製造、不動産、サービス業、さらに国家、地方の公務員等、多岐にわたっています。最近では、企業の総合研究所や情報関連企業に就職する卒業生も出てきています。また、大学での研究を深めるために大学院に進学する者もいます。



専門科目の演習および講義風景

卒業論文タイトル抜粋（平成24年度）

●トルコは「世俗主義国家」か—イスラーム化と政教分離の狭間で揺れるトルコ— ●代議制民主主義とポピュリズム ●なぜ日本の内閣総理大臣の在任期間は短いのか ●田中角栄のポピュリズム—母に捧げた『日本列島改造論』— ●公教育と市場経済—マンパワーポリシーから学校選択に至る「期待される人間像」をめぐって— ●経済状況が首相の在任期間に与える影響 ●北方領土と「二島返還論」—何故北方領土問題は解決しないのか— ●熟議的民主主義理論の再検討—日本的代議制民主主義の抱える問題の克服— ●「アラブの春」の民主化論的考察 ●孤独死防止のための政策及過程分析 ●イスラエルの入植政策とシオニズム—オスロ合意以降を中心に



あかし じゅんいち
明石 純一

「国境を越える政治」▶
【移民・難民研究／アジア地域の国際人口移動の分析／グローバルガバナンス】▶人（あるいは労働力）・物（商品）・金（資本）、そして情報があたかも自由に国の境界線を越えているかにみえる現代社会を、「ボーダーレス」と形容することが増えました。グローバル化により世界は「ひとつ」になる、ということも頻りに語られます。しかしそれはどこまでが本当のことなのでしょう。そもそも「国家」、「国境」、「国籍」、「国民」とは、いかなる実体を表す概念なのでしょう。世界各国を放浪していた大学時代にふと頭に浮かんだこの疑問に取りつかれ、今もまだ回答を探している最中です。政治学を含む社会諸科学の習得と行動による実体験を通じて現代社会の変化と普遍性を理解すること、そのような学びの場をみなさんと共有したいと考えています。

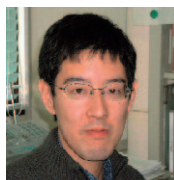


くぼ よしあき
久保 慶明

「政治学」▶【公共政策学／政治過程論／地方自治】▶大学で法律や経済を学ぶ中で、政治を「発見」して今に至ります。

私たちが受ける公共サービスは、多かれ少なかれ租税で賄われています。誰のために誰が税を負担するのか。それを決めるのは政治です。政治に関心な方も、政治に関係ではありません。政治に関心な人が参加しないと、政治に関心を持つ人の意見が政治に反映されやすくなります。

よく権力闘争（政局）ではなく政策論争が必要だといわれます。「失われた20年」を経験してきた日本も、政策を中心とした政治を目指して改革を行ってきました。しかし、権力闘争なき政策論争はありえません。政策を実施するのは権力を握った人なのですから。求められているのは、権力闘争のメカニズムを踏まえた政策論争です。



こんどう やすし
近藤 康史

「政治思想」「政治過程論」「現代政治分析」▶【政治理論・思想／福祉国家論／イギリスを中心とした現代ヨーロッパ

政治】▶政治学を志す理由の一つに「社会を良くしたい」というものがあるでしょう。しかし、自分にとって「良い社会」が他人にとっても「良い」とは限りません。社会には様々な考え・価値を持つ人々が存在するからです。その多様性を踏まえながら、いかに平和的な共存の方法を見出すか、これこそが政治学の根本的な問いです。その問いへ向けて、まずはできるだけ多様な人々との付き合いやコミュニケーションを通じて様々な考えや価値に触れてみましょう。それが政治学への第一歩です。



すずき そう
鈴木 創

「比較政治学」「アメリカの政治」▶【現代アメリカ政治／議会研究】▶新聞やテレビで政治が語られない日はあり

ません。政治についての知識やイメージを得ることはそう難しいことではないでしょう。でも、常識とされていることが本当に正しいのか、常識とされる現象がなぜ起きているのか、ちょっと立ち止まって自分の頭で考えてみてください。有名な評論家がテレビで話していることも、大学の先生が本で書いていることも、批判的に考える姿勢を身につけましょう。



たけなか よしひこ
竹中 佳彦

「日本政治論」「日本政治思想」「現代政治外交Ⅰ・Ⅱ」▶政治学・日本政治論（イデオロギーと政治意識、投票行動などの計量分析／戦後の政治外交史・思想史）

▶政治とは、あらゆる人間諸集団に見られる、人間の相互作用によって生じる現象です。それを対象とする政治学は、古代ギリシャにまでさかのぼれる学問で、経済学や心理学、社会学、歴史学などの隣接諸科学の影響を受けながら発展し、時代に応じた役割を果たしてきました。複雑な現代の諸問題を解決するために、学問はますます学際化し、総合的な視点で物事を捉えて政策的に思考する人材が求められています。社会科学を広く学びながら政治学を学べる社会学類のメリットを生かし、そのような能力を培って下さい。



ちえ じゅん
崔 宰栄

「計量分析入門」▶【計量政治学】▶社会をとりまく色々な問題に対し、自分なりの意見を持つて積極的に取り組みながら、自分の価値や潜在的な能力を導き出し、社会の一員として何ができるのか、何をすべきなのか、という問いに答えを見つけてみませんか。



つじなか ゆたか
辻中 豊

「政治学」「市民社会政治論（大学院現代文化・公共政策専攻）」▶【各国の市民社会と政治／NGO・NPO・利益集団／政治過程の比較分析】▶政治は面白い…と15歳で感じてから、40年余、私は今も楽しく研究しています。中味はいずれ講義で聞いてください。政治は運命への自己決定という側面もあり、どうしてもなく大きな歴史の流れという側面もあるので、多様な接近が必要です。歴史の奔流に流されず、メディアやエリートに操られず、自分が主人公になること、そのために政治学がありますが、さてその肝心の自分とは何でしょう。それを知ることから研究が始まります。そのためには自分「研究ノート」をつけましょう。



みなみやま あつし
南山 淳

「国際政治学」「国際紛争論」▶【国際政治理論／国際安全保障／グローバル化と国際紛争】▶「1人を殺せば犯罪者となり、数百万人を殺せば英雄となる。数が殺人を神聖なものにするのです…」映画『殺人狂時代』（1947）の中でチャップリン演じる連続殺人犯が発したセリフです。倫理的判断はどうあれ、他者の生命を理不尽に奪うという意味で、殺人と戦争の分岐を犠牲者の数に求めることは一面の真理かもしれません。ただ誤解してはならないのは、大量殺戮の結果、殺人が正当化されるわけではなく、「正当」とされる目的が戦闘行為における殺害を正当化するという点です。戦争の目的が正しいか否かの判断は、人によって、国によって、時代によって変わってきます。「正しい戦争」は本当にあるのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



ふるた ひろし
古田 博司

「東洋政治思想」「情報戦略と政治」▶【東アジア政治／北朝鮮政治／宣伝煽動工作と思想教化／特定アジアの反日と日本の安全保障】▶今回の震災で大きな矛盾が露呈しました。それは市民社会を国家に先行させる人々が政権を握ったとき、いかに国家が機能不全に陥るかという実証でした。彼らは国家というものは資本のためにあり、民衆支配の暴力装置だといえます。だから、社会を変革しなければならない。市民を連帯させて市民社会を強くしようという、国家・社会二分論に立っています。だから国家運営がうまくいきません。被災地の支援を放り出し、市民活動家を集めて原発事故検証委員会を立ち上げたりしました。私の講義は国家論を中心に進められます。近代における国家理性の歴史、ポストモダンにおけるその再構築を考えます。参考書は、古田博司『東アジアの思想風景』（岩波書店、サントリー学芸賞受賞作）、同『東アジア・イデオロギーを超えて』（新書館、読売・吉野作造賞受賞作）を挙げておきます。



まつおか ひろし
松岡 完

「政治外交史」「欧米政治外交史」▶【アメリカ政治外交史／冷戦史／ベトナム戦争史】▶受験勉強中のみなさんは、世界史や日本史は「暗記科目」で、つまらないと思っているのでは？でも本当は、歴史とは推理小説のようなもの。世の中に発生した無数の出来事の中から、それぞれの目で「事実」を選び出し、独自の「解釈」を加えることで、何が起きたのか、なぜそうなったのかという「物語」をつくりあげていく作業です。20世紀、とくにその後半の政治外交史を舞台に、その面白さを一緒に味わっていきませんか。

経済学主専攻

経済学への招待

経済学は、人文社会科学で唯一ノーベル賞の対象となっている学問分野であり、システムティックな方法と高度な論理性を備えている点に特徴があります。経済学の方法は、狭い意味の経済現象の分析用具として大きな成果をあげてきただけでなく、政治、法律、労使関係、家族、環境問題、都市、教育、国際関係といった他の分野にも幅広く適応されて、深い洞察をもたらしてきました。その結果、今日では、それらの分野も経済学の重要な領域となっています。

経済学は、文科と理科の二つの側面をもった学問です。自然科学と同様に、経済学では明確な仮定の下での論理性に厳格です。また経済学が文种的であるのは、単に対象が人間活動であるからではなく、他の人文社会科学と同様に歴史や思想を重視するからです。

経済学は、しばしば誤解されるような、金儲けや社会の効率化の手段ではありません。それは、社会問題を明晰に、客観的に、そして検証可能な形で思考するための手段なのです。

教育方針と特色

経済学主専攻では、論理的思考を経済学教育において重視しつつ、経済学の分析手法を段階的に学ぶことができるカリキュラムを設定しています。これに加え、理論と歴史・実証分析の調和された教育内容を設定することで、広い社会的関心をもちながら、現代の問題をシステムティックにとらえる能力の養成を目的としています。

また、他大学の経済学部と比べて教員一人当たりの学生数が少ないという特色を生かして演習（ゼミ活動）を重視しています。

そこでは、活発な議論を通じて経済学をより深く学べるよう留意するとともに、工場見学を実施したり、日本銀行・証券取引所見学を実施したりなど生きた経済を学ぶための実習的な取り組みも積極的に行っています。

さらに必修ではありませんが、学生生活の総決算として卒業論文をまとめることを推奨しています。

将来の方向と進路

就職先は、銀行など金融業から、製造業、マスコミ（新聞記者など）、教職、公務員などさまざまな分野に及んでいます。また、研究者をめざして大学院に進学する人もいます。



工場見学（クリーンルームにて）



演習風景



講義風景

卒業論文タイトル抜粋（平成24年度）

●東日本大震災からの復興と社会的共通資本 ●パフェット投資論 ●日本の財政について ●行動経済学に関して ●Potential Contribution of co-curricular Activities to Social Capital Accumulation ●行動経済学～最適な意思決定をするために～ ●新債券による貧困問題への取り組み ●貨幣経済の動学理論



しのつか ともいち
篠塚 友一

「経済学基礎論」「ミクロ経済学」「産業組織論」▶【ミクロ経済学／社会的選択理論／厚生経済学】▶

某大学の経済学部を受験すべきか商学部を受験すべきか迷っていたとき、当時その大学の商学部3年生であった方から、経済学部受験を勧められました。その方がおっしゃっておられたように、経済学は面白く、かつ有用な学問です。このことを深く理解するためには、最初の2年間は数学（線型代数、微積分）や論理学をじっくり学ぶとよいでしょう。



たかはし ひでなお
高橋 秀直

「現代経済史」「経済学入門演習II」▶【経済史／金融史】▶

知識は断片的な情報を相互に関連付けて整理したものです。高校までの勉強は、他の誰かが整理した教科書や受験参考書を利用するだけでした。でも、私は、他人の視点を身につけることから一歩踏み出して、自分なりのものの見方を手にしたいと思っています。新しいことを学ぶ度に、自分がすでに知っている知識と関連付ける練習を続けています。授業を通じてその一端を伝えられれば幸いです。



なか しげと
仲 重人

「公共経済学」▶【公共選択論／公共経済学】▶

人は、自分が社会関係を通じて形成した眼鏡をとおしてこの世界を見ています。眼鏡の良し悪しについては絶対的な基準はないかもしれませんが、少なくとも、経済学的手法は、一つの代替的な、かつ、とても興味深い眼鏡を提供してくれると思います。私の場合はそうでした。これは、自分と社会を認識している自分の視座を変革し、異なるレベルの満足と理解を得るために役に立つかもしれません。



ひらさわ てるお
平沢 照雄

「地域経済論」「日本経済史」「日本経済論」「経済学演習V」▶【現代日本経済史／地域経済・産業論／中小企業論】▶

グローバル化が進む中で、今日の日本経済・地域経済は大きな転換期にあります。日本経済は、どのような歴史を経て現在に至り、今後どのような方向に向かおうとしているのかに興味をもち、日本経済・地域経済の歴史と現状について学びたいという意欲的な学生に出会えることを期待しています。



ひらやま あさじ
平山 朝治

「経済思想史」「経済学演習VI」▶【経済思想／経済システム・文化・思想の進化と持続／日本社会】▶

大学生になると、あらゆる面で、それまでと比べて自由に自分でものごとを決められるようになりますし、大学を卒業すると、これほどの自由や時間的余裕は二度と得られない人が多いでしょう。入学目的の受験勉強が終わった後、自由を持てあましたり、自由に背を向けること（カルトにはまるなど）にならないように、何ができるか、何をしたいかを予め考えて、夢を持って志望していただきたいと思います。



ふくずみ まさかず
福住 多一

「経済数学」「基礎経済数学」▶【ゲーム理論／進化ゲーム理論】▶

経済学の学習には「費用」と「便益」が伴います。理論と分析技術を基礎から積み上げ、学生生活の多くを学習にあてる必要があります。これが費用です。経済学は社会に関する極めて体系的な科学です。一見複雑な社会現象でも、本質をすっきりと理解できます。これが便益です。経済学は文系・理系の境界線が無い総合科学です。費用より便益が大きいと感じる意欲的な学生に来て欲しいです。



みのわ まり
箕輪 真理

「開発経済学」「経済学演習X」▶【開発経済学／ラテンアメリカの経済／開発政策／社会開発】▶

世界は大きくて私たちの知らないことは無限です。そんな世界に生まれてきた私たちは本当に幸せ。限られた時間をどう過ごすし、何を考えて、いかに生きるのか、自分の選択次第です。自分の選択に責任を持って、たくましく生きてゆけるための基礎固めをする時間、それが大学での4年間です。社会学類に入学して、勉強は本当に楽しいということを実感してもらえることを願っています。

4 主 専 攻 から

社会学主専攻 ● 小川 翔大

「社会学って何を勉強するの?」なんてお思いの方は多いのではないのでしょうか。なんとなく…わかるようでわからない。意外にも「社会学する」対象は日々の生活の中に溢れています。ミクロな社会からマクロな社会まで、私たちの社会で起こるあらゆる事象には必ず要因が伴います。しかし、意識しなければ「当たり前」や「疑問」で終わってしまう。社会学はそんな「当たり前」を再検討し、「疑問」を解明する学問分野です。

社会学類の授業は、講義とゼミの2種類の形式があります。特にゼミと呼ばれる社会学演習と社会調査実習では少人数制を採用し、実際にフィールドワークを通して学習することでより専門的な知識を身に付けることができます。また、社会学類の最大の特徴である、法学、政治学、経済学を並行して学習できる環境は、社会学を学ぶ者として魅力的であり、自慢でもあります。学問は必ずしも分断されているわけではありません。だから、社会学だけでは完結できない問題も、相互補完的に解決へと導くことが他の主専攻科目を学習することで可能になります。

最後に私から社会学類を目指している皆さんに伝えたいのは、「探究心」を持って社会学に挑んで欲しいということです。私はニュージーランドの高校に3年間留学をしていました。高校生活では、わかることよりもわからないことの方が圧倒的に多かったけれど、それら一つ一つに向き合い、自ら能動的に解決する力を養いました。そこで培った経験と姿勢は社会学を学ぶ上でも共通していると言えます。「なぜ?」と疑問を持ったなら、正解・不正解にとらわれずに自分の答えを導き出す。また、疑問に対するレスポンスの速さ、周囲の意見も大切にしてください。それらが社会の見え方を変えてくれる第一歩になるかもしれません。そして、「鳥の目」、「虫の目」を鍛えていくことで、社会学を知れば知るほど好きになること間違いありません。勉強の本質は楽しむことだし、楽しい勉強の方が役立つ知識として頭に残り続ける。そんな学ぶ楽しさと興奮を先生や仲間と共に社会学類で味わってみませんか?



法学主専攻 ● 久下沼 春奈

「法学」「法学部」という単語を聞いて、みなさんは何が思い浮かびますか。六法全書を丸暗記していて、何か事件を見ると法律がぱっと浮かんで「これは第何条が…」なんてスラスラ言えて、将来は弁護士になって…。以前の私もこんなイメージを抱いていました。しかし、現在の私はこれらのイメージに全く当てはまりません。法学という学問は、条文を暗記すれば済むような単純なものでも、ある事件にそれっぽく条文を当てはめるだけのつまらない学問でもありません。みなさんの想像以上に奥深く、おもしろい学問です。

実際に何をしているかというと、ひとつは条文に含まれる単語をひとつひとつ解釈するというものがあります。例えば「窃盗罪」として何が処罰されると思いますか。多くの人は「物を盗むこと」とぼんやり浮かんだのではないのでしょうか。では、その「物」とは何でしょうか。誰の物を盗んでも窃盗罪なのか、盗むつもりはなく誤って人の物を持ってきてしまった場合どうか…。たったひとつの条文にも様々な論点が詰まっています。このような条文解釈も、法学を学ぶ上で重要なことのひとつであり、法学の奥深さに触れるきっかけでもあります。

また、社会学類の法学以外の3つの主専攻の授業はもちろん、他学類の授業もとることもできます。そのため、ひとつの問題を多くの側面から見ることができます。特に社会学類の4つの主専攻の授業は社会科学という分野で、共通の対象を論じることも多く、複数の授業が繋がることも多いです。その繋がりを発見できることもまた、大学で学ぶ上での喜びのひとつだと思います。

一つの学問にどっぷり浸かりたい人、いろんな学問に触れたい人など、いろんな人が集まる場所、それが筑波大学です。法学をしっかり学びたい人も、興味はあるけど他の学問も気になる人も、それぞれがいろんな発見や感動を得られるはずです。そんな社会学類と一緒に法学を、様々な学問を学んでみませんか?



編入学 荻原未来



もっとたくさん勉強したいのに、もしかしたら自分とは違う勉強がしたいんじゃないかな、そう思ったことはありませんか。筑波大学では、学びを支援する様々な取り組みの一つとして、編入学制度があります。ここでは、編入をしてからの私の経験を少しお話ししたいと思います。

私は、在籍していた大学の専門の授業で、社会学の文献を読み、その面白さに魅了され、二年間の社会人経験を経て、筑波大学に編入学しました。筑波大学の、社会科学分野を横断的に学べ、他学類の授業も受けることができるカリキュラムは、やはり魅力的です。二度目の大学生活ですから、「自律自啓」—学費、生活費、時間の管理などを自分でやり遂げることが、筑波大学での目標になりました。簡単なことではありませんが、つくばであるからこそ、充実した大学生活を過ごせています。

つくばは田舎ですが、確かな魅力があります。足りないところは人が形作っていく、そういう

いう街だと思っています。たとえば、学内で開催されるワークショップでは、様々な専攻を持つ学生、先生方、地域の方々などが、立場に関係なく自由に語り合っています。このようにして、日々、社会学類で学んでいる言論の大切さを感じています。

幸いなことに、私の在籍しているゼミでは、先日、社会学を学ぶきっかけになった文献について議論する機会がありました。編入時には見えなかった視点、自分では気付かなかった視点を知り、自分はまだまだだなあと感じながら(笑)、また一つ社会学の奥深さを感じました。仲間との議論はとても刺激になりますし、先生方との距離も近く、ゼミでの学びはかけがえのない経験になります。なかなか答えの出ない問題をみんなで考える、その姿勢が大切なのです。

筑波大学の自由な学風は、皆さんにとって、大きな力になれると思います。様々な理由で、編入学試験を考えている方はたくさんいると思います。新しい世界に飛び込んでいくことは、確かに覚悟が必要です。しかし、自分の気付きを体現できるのは、編入学の一番の魅力ではないのでしょうか。筑波大学で皆さんにお会いできることを、楽しみにしています。

政治学専攻 ● 上村 洸

親元を離れて筑波大生として生活を始めてからはや二年、僕は高校までとは全く違う全国、ときには海外から集まった友人や先輩たちと新しいコミュニティーを形成し、刺激に満ちた生活をしています。その生活は様々な会話や議論を伴い、身近なことや今までの自分の常識を見直す機会を与え、両親のありがたみやその存在の大きさを僕に時には胸が痛くなるほど教えてくれました。そして、そんな僕の身近なことを考え直すきっかけの一つとなっているものが政治学です。

みなさんは「政治」と聞いてまず何を思い浮かべますか？国会に響き渡る罵声、休日の朝からブラウン管に現れ議論と称して言い争いを行う議員たち、それとも日々ニュースで出てくる汚職問題でしょうか？きつと政治に対して良いイメージを持っている人は少なく、自分たちの生活とは関係ないものとみなし、政治というものから距離をとっている人は多いのではないのでしょうか？しかし、身近なことや自分のすごく興味のあるものが実は政治と関わっていたらどうでしょうか？公立高校の部活動の活動時間は各都道府県によって大きく変化し、大学生活で最も重要視されている就職活動の時期も今まさに変わろうとしています。これらの身近なことが政治と関わっているとしたらどうでしょう？また、あなたの最良のプロ野球チームやJリーグのチームが勝てない理由が政治と結びついていたら？あなたの好きなロックバンドの売り上げが実力にそう差がない他のバンドと大きく異なる原因に政治が起因していたらあなたは どう考えますか？

身近なものや自分の好きなことをより深く考えること、それこそが政治学を学ぶ第一歩となります。そして、友人や先生と自分独自の視点から捉えた政治学について発表し議論することで、より政治を身近なものとして感じることができそうです。そして全国から集まった社会学類の仲間たちは、政治学を通じて僕に刺激と新しい景色を提供してくれます。どうでしょう？この文章が社会学類と政治学のアピールになれば嬉しいですね。(笑)



経済学専攻 ● 津留 奏太

皆さんは経済学ってどんな学問だと思いますか？「世の中のお金がどういう風に動いているかを調べる」とか「お金儲けをするための学問」という様に考えている人が多いでしょうか。中には「とにかくお金関係」なんてアバウトな回答もあるかもしれませんね。

これらの考え方も間違っではないかもしれませんが、自分は簡単に言うところでは「損得勘定をする学問」だと思っています。

例えば、今この文章を読んでいる皆さんは「時間」という資本を持っています。それをこの文章を読むことに使うのか？英単語を一つでも暗記することに使うのか？どっちが皆さんの「効用(満足度)」が高いと思いますか？「使える時間は少しも無駄にせず受験のことだけを考えるんだ！」なんて思う人もいれば、「一単語なんて誤差だ。むしろモチベーションを上げるほうが有益だ！」なんて考える人もいます。

別にどちらが正しいというわけではないのですが、私たちの生活は様々な選択肢で溢れているのです。その選択肢を全て見つけ出し、比較して、最善の選択をする、それが経済学です。私たちの周りの価値はお金で換算できるので経済学はお金の学問と思われがちですが、他にも価値のあるものなら何でも検討します。例えば余暇の時間、綺麗な容姿、思い出、愛なんかもそうですね(笑) どうすればそのような価値のあるものを多く得られるのかを日々考えています。

そんな経済学ですが、筑波大学の社会学類では数式を使った授業だけではなく過去の社会を分析するような授業、実際に工場などを見学していく授業など様々な形で学ぶことができます。また何よりも素晴らしい点は授業の殆どが少人数で行われているという点です。自分が今いるゼミは10人ほどで行っているため沢山発言ができるだけでなく、教授も生徒のことを細かく見てくれます。こんな素敵な環境がそろった社会学類に皆さん是非来て下さい。来年の春に皆さんと会えることを楽しみにしています。



活躍する社学生



櫻井 俊輔 平成24年度筑波大学学園祭実行委員会委員長

チャンスは準備された心の中にのみ降り立つ。私の心の片隅にいつもある言葉です。

筑波大学の学園祭は昨年度の学園祭グランプリで審査員特別賞を受賞するなど全国でも有数の規模を誇る学園祭です。

私には経営者になるという夢があります。私はその夢を叶えるために筑波大学で自分がしたいこと、できること、すべき

ことを考えました。その結果、社会学類での勉強、そして総合大学ならではの他学類の様々な授業で得た知識を自分なりにアレンジして学実委の委員長として実践し、その経験を将来に活かそうと考え委員長になりました。

委員長としての経験は今の私に沢山のモノをもたらしてくれました。それは冒頭の言葉の通り、良い準備を重ね続けたからだと思います。この成功の経験を活かして夢を叶えようと思います。



今井 卓 学園祭実行委員会 広報宣伝局局長

こんにちは。社会学類2年の今井卓です。筑波大学の学園祭は雙峰祭と言って、例年約500企画が出店し約3万人もの来場者を誇る関東屈指の学園祭です。

社会学類は4つの学問を包括しています。私は社会学専攻志望ですが、他の分野の授業も取り、広い視野を持てるよう努力しています。4つの学問を横断的に学べることは社会学類の最大の特徴であり、魅力です。また、社会学には「参与観察」という言葉があるのですが、これは調査者自身が集団に加わって内部から観察することを指します。コツは集団に溶け込み過ぎず、一歩引いて観察すること。このコツは広報宣伝の一歩引いた視点を持つ、というコツと一致しています。

以上のようなことは、今、そして将来の社会を生きていく上でも必ずや大きな力になるでしょう。社会学類でみなさんと会えるのを楽しみに待っています。



宿舎に入居している学生を中心として、毎年5月末に開催される宿舎祭。参加の充実感120%。



図書館のセミナー室は視聴覚機器も整備され、ゼミの少人数授業や自習活動に活用されています。



主に社会学類生で構成されるサークルの桐政会では、社会・政治問題を熱く議論します。

学園祭、社会学類開催イベントの目玉！松美記念です！松美池に飛び込む経験は、なかなかできませんよ、ぜひ挑戦してみてください。



10月に行われる学園祭「雙峰祭」の様子です。一般のお客さんとサークルや学類の屋台で賑わっています。毎年大変盛り上がる筑波大学最大のイベントです。



2007年夏、移設オープンした「STUDENT PLAZA」。ここには「就職課」などがあり、就職活動に関する様々な資料が詰まっています。

「社学生」の

生

活



第二、第三エリアの間にある噴水。天気の良い日には、ここでのんびりしている人を多く見ます。



中央図書館です。図書館内にはテイクアウト可能な喫茶店もあります。試験期間前になると多くの人が課題に追われて図書館を利用します。



新入生歓迎合宿における野外炊飯の様子。準備から片付けまで一緒にやることで、一年生同士の距離が縮まるかも…。



社会学類は毎年、気合いの入った神輿を作製します。

各種イベントでは普段とは別人の「社学生」が！大学生活の自由を満喫してください。



Campus Life

学務などの学生生活をサポートする人文社会エリア支援室(学群教務)。親切丁寧な対応で、皆さんをサポートしています。



「第1エリア小食堂」松美池を臨む、見晴らしの良い大きな窓が気持ちの良い食堂です。喫茶メニューが充実。



休講、教務連絡、バイト情報など様々な情報が満載な掲示板です。

「第1エリア食堂」新しくなった食堂は、おかずも豊富で丼物や麺類の他、定食メニューが日替りで楽しめます。



勉学以外にも多彩な才能を発揮するのが「社学生」。ライブ会場で大いに盛り上がります。



「スープファクトリー」スープを中心に、ランチだけでなく軽食も人気。予約すればパーティーもできます。

社会学主専攻卒

佐藤 摩耶



三菱東京UFJ銀行

どんな学問ですかと聞かれても明確に答えられないのが社会学です。変化する社会構造を分析し、社会を構成する人々の生活や行動、現象に規則性をさぐっていくのであり、扱うのは家族、死、コミュニティ、制度など実に様々です。

アメリカの高校へ単身で留学するなど、あらゆることに興味関心があった私にとって、「社会学」はまさにぴったりの学問でした。与えられた

学説を学ぶというより自ら仮説を立て、それを証明していく、このプロセスにとても魅力を感じました。

卒業論文に選んだテーマは「個・月島地区における再開発の現状」です。20年以上にも渡って再開発が進められてきた同地域において、新旧住民により構成されるコミュニティの変化について考察しました。定性的な調査として住民や区役所、学校の教諭などへのインタビューを行い、定量的な調査として統計上の変化を資料分析し、自ら立てた仮説を裏付けていきました。調査を続ける中で、定性面と定量面が食い違い、仮説を何度も立て直すことになるのですが……。

大学を卒業後、銀行に就職しましたが、上司から毎日のように言われるのが、まさに「定性面、定量面双方から企業を研究せよ」ということです。数字からは見えない要素、例えば経営者の

人柄、考え方、嗜好なども重要な指標の一つとして、分析の対象となります。また、担当させてもらっている企業業種が多岐に渡っているため、常にアンテナを張り巡らせて幅広く考察することが求められます。卒業してもなお、研究活動は続いているかのようなようです。

学生時代は、学問もアルバイトもサークル活動も旅行も多少無理をするくらい思い切って取り組むことをお勧めします。例え失敗することがあっても何ものにも代えがたい貴重な経験となることは確かです。アルバイトも、サークル活動も、旅行も決して思い切り取り組んだとは言えない私ではありますが、卒業論文にはたっぷり時間をかけ、納得できる結果が得られたと思っています。社会人として働く今、その経験が自信となり、私を支えていることは間違いありません。

卒業生の声

政治学主専攻卒

堤 大介



楽天株式会社

何か社会に役に立つことがしたい!でもどうやったら役に立てるんだろう。社会に役立つ何かを見つけるには、まずは自分なりに社会を捉える必要があるんじゃないだろうか。——こうした社会に対する漠然とした疑問が、私が社会学類を志望した動機でした。

政治と聞いて皆さんは何をイメージするでしょうか?

国会や選挙の情報、国内の様々な問題から国際情勢まで、メディアには連日把握しきれない程

の政治ニュースがあふれています。これらはもちろん政治学の対象です。しかしニュースで扱われるものだけが政治ではありません。私たちの生活のあらゆる場面に政治は登場しています。皆さんの家庭にも、学校にも。

普段私たちは多くのルールに従って生活しています。国が定める法律だけではなく。学校で掃除をしなくてはならないのもルールです。TVゲームは一日一時間までなのもルールです。政治学とはこうしたルールの本質を見極め、そこに介在する力(権力)やその構造を把握するための学問です。人が集まる場所には必ずルールが発生しますので、政治学を学ぶことは社会を見つめる視点を身に付けることにつながるのです。

また、大学時代には実際の社会に関わる機会も積極的に作って欲しいと思います。私も様々な活動に参加しました。児童養護施設でのボラ

ンティアでは児童虐待という社会課題を知り、福祉や教育など行政の手が行き届いていないことや、子育て支援・働き方の問題など多くの課題が複雑に絡んで「虐待」という結果として表れていることを、実感し考えることができました。市議会議員の元で議員インターンにも参加しました。マニフェストの作成や街頭演説、政策を検討して市役所の担当課の方とお話をしたりといったことは、普段できない貴重な経験です。こうした実際の体験は政治学を学ぶ上で大きな助けになります。

現在はインターネットの世界で働いており、政治や行政とはまた違った視点での社会課題との関わり方を学んでいます。自分なりの視点で社会との向き合い方を模索していく日々は、とても充実しています。

社会を見つめるツールとしての政治学、ぜひ学んでみてください!

法学主専攻卒

吉澤
聡



第66期司法修習生
(配属庁:東京地方裁判所立川支部)

私は、2010年に筑波大学を卒業し、一橋大学法科大学院既修者コースを経て、平成24年司法試験に合格することができました。現在は、司法修習生として、裁判官、検察官、弁護士の法曹三者それぞれの業務を経験しながら、より良い法曹を目指して、充実した日々を送っています。

筑波大学に入学した当初は、社会学主専攻を目指していました。しかし、大学1年次の冬にあった社会的注目を集めた裁判をきっかけに、法

的紛争に巻き込まれた人々の支援をしたいと思うようになりました。そこで、大学2年次から法学主専攻を目指して法律基礎科目を履修するとともに、法科大学院受験の勉強を開始しました。

筑波大学の良いところは、学生が少人数であることから、学生同士はもちろんのこと、先生方とも深い関係を築けることです。私は、法科大学院を受験するにあたり、各科目の先生からお薦めの参考書や勉強方法を教えていただきました。また、私は、刑法ゼミ、裁判実務に所属し、ゼミの先生とは、ゼミ終了後に一緒にお食事に行くこともありました。学生のみなさんには、恥ずかしがらず、多くの先生と積極的にコミュニケーションをとることをおすすめします。

法曹になるためには、司法試験という大きな壁を乗り越えなければならない、司法試験の合格者数削減の動き、弁護士の就職難等暗い話題も多いことは確かです。他方で、法曹資格を有して

いなければならない業務は数多くあり、様々な業務の中からやりがいのある仕事を必ず見つけることができると思います。私もまだ修習中ですが、自分のやりたい仕事が少しずつ固まってきました。また、自分がお会いした裁判官、検察官、弁護士の方は、どの方も優秀かつ人格者であり、今後そのような方々に囲まれて仕事ができる考えると、今からとても楽しみです。みなさんも法学を専攻し、法曹を目指してみたいかがでしょうか。

もちろん、法学を専攻したら必ず法曹を目指すさなければならないわけではありません。法学主専攻の私の友人達は、公務員や金融、メーカー等それぞれの就職先で活躍しています。法律を専門とする職業でなくても、法学の知識や思考方法等は社会の中で役立つので、少しでも法学に興味があれば、ぜひ法学の授業を履修してもらいたいと思います。

社会学類の先輩達は当時どんなことを考え、どんな学生生活を送っていたのか？
今は卒業し就職した先輩達に聞いてみました。

経済学主専攻卒

長田
緑



新生銀行

経済とはどういう分野だと思いますか？ お金ばかりを考えているのかなあ、その学問の経済学って数学が多くて大変かなあと、少し堅苦しく考えていませんか？ しかし、ある先生と先輩に言われた言葉があります。「生活のベースには経済がある」。人々はお金がない時代でも、物を取ってきたり、作ったりして、それらを交換することによって生活を成り立たせてきました。その物々交換こそ経済です。そこから人はお金を生

み出し、売買し、今では株やデリバティブなんて仕組みであります。経済は私たちの身近に存在し、決して特別な分野ではないのです。

身近な事は様々ですから、その学問の経済学も一言では言い表せません。一口に経済学といっても、広くそして非常に深いものです。マクロ、ミクロ、経済思想、経済史、公共経済、開発経済、ゲーム理論、これらは経済学を構成しているものの、内容はずいぶん異なります。初めて触れた時、別々の分野に思えたと言っても過言ではありません。筑波大学ではこのような様々の分野の経済学を学ぶことができます。好きな授業やゼミを履修することができ、先生、環境ともに、とても充実しています。私はゼミを3つ取りました。社会工学類など他学類の授業にも参加しました。経済学主専攻の学生は1学年10数人程度という好条件でもありました。ゲーム理論

の実験をした授業では、先行研究を理解したうえで、条件を変えたときの実験方法や結果予想を自分達で行い、実際に実験をしてデータを分析しました。仲間と議論して計画立案する力や、データを通して新たな事実を発見する力が付き、現在の銀行業務にも役立てています。

恐らく社会人になって経済を知らずに働ける人はいないと思います。働く行為自体が経済活動であり、物やサービスを売るためには、経済の流れを知らなければならないからです。最初に経済学を学ぶ理由は、学問に興味があればもちろん、お金が好き、就職活動に有利そうということでもよいと思います。魅力的な先生方が、大いに経済学の楽しさを教えてくれ、一つは興味のある経済学の分野に出会えるはずですよ。難しく考え過ぎず、だけど真剣に。経済学を楽しんでみませんか？

卒業生の進路

平成21年度【卒業生 108名】



企業就職者 (57名) の内訳

A	B	C	D	E	F
A 金融・保険業 26.3% 15名	B 運輸・通信業 12.3% 7名	C サービス業 33.3% 19名	D 製造業 21.0% 12名	E 卸売・小売業 5.3% 3名	F 不動産業 1.8% 1名

平成22年度【卒業生 87名】



企業就職者 (44名) の内訳

A	B	C	D	E	F
A 金融・保険業 29.5% 13名	B 運輸・通信業 6.8% 3名	C サービス業 29.5% 13名	D 製造業 18.2% 8名	E 卸売・小売業 11.4% 5名	F 不動産業 4.6% 2名

主な就職先 (平成21~24年度)

【金融・保険業】

みずほ銀行／三井住友銀行／三菱東京UFJ銀行／三菱UFJ信託銀行／七十七銀行／常陽銀行／りそな銀行／千葉銀行／八十二銀行／静岡銀行／ゆうちょ銀行／筑波銀行／新生銀行／大和証券／野村証券／九州労働金庫／東海労働金庫／水戸信用金庫／茨城県信用組合／住友生命保険／第一生命保険／日本生命保険／明治安田生命保険／かんぽ生命／アクサ生命／オリックス／三井住友カード

【メディア・情報・通信】

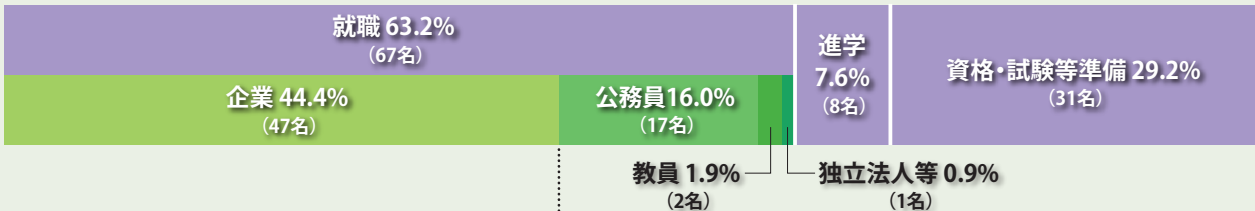
日本経済新聞社／読売新聞社／中日新聞社／西日本新聞社／信濃毎日新聞社／NHK／新潟テレビ21／日立ソリューションズ／富士通エフ・アイ・ピー／NTT東日本／ジュピターテレコム／ソフトバンクテレコム／テレビ朝日映像／関西テレビ放送／電通／野村総合研究所

【製造業】

新日本製鐵／昭和シェル石油／日本ガイシ／古河機械金属／昭和産業／プリマハム／日本ハム／味の素冷凍食品／東芝／積水ハウス／大和ハウス工業／住友林業

最近の傾向として、卒業生のうち就職した者は3分の2前後います。民間企業・団体への就職者は約5割で、公務員やそれに準ずる者は、年度による差はありますが、15%前後です。就職先は多岐にわたり、非製造業(特に金融、メディア、サービス)が多くなっています。一方、進学や資格試験等の準備をする者が4分の1から3割程度おり、研究職や高度な専門職を目指す者も多くいます。

平成23年度【卒業生 106名】



企業就職者(47名)の内訳

A	B	C	D	E	F	G
A 金融・保険業 29.5% 13名	B 運輸・通信業 6.8% 3名	C サービス業 29.5% 13名	D 製造業 18.2% 8名	E 卸売・小売業 11.4% 5名	F 不動産業 4.6% 2名	G 不動産業 4.6% 2名

平成24年度【卒業生 93名】



企業就職者(51名)の内訳

A	B	C	D	E	F	G
A 金融・保険業 37.3% 19名	B 運輸・通信業 7.8% 4名	C サービス業 21.6% 11名	D 製造業 15.7% 8名	E 卸売・小売業 9.8% 5名	F 不動産業 1.9% 1名	G 不動産業 5.9% 3名

【卸売・小売・運輸・サービス】

日鐵商事／双日／豊田通商／丸井／丸紅／丸善／三越伊勢丹／楽天／成城石井／ニトリ／ローソン／JR東日本／名古屋鉄道／全日本空輸／日本航空インターナショナル／成田国際空港／郵便局／東急不動産／星野リゾート／法律事務所／トヨタホーム

【国家公務員】

総務省／金融庁／厚生労働省／人事院／札幌東労働基準監督署／東京地裁／東京家裁／さいたま地裁／東京高裁判官補佐／国会図書館

【地方公務員】

都道府県庁(東京、茨城、埼玉、群馬、岐阜、静岡、岡山など)／市役所(横浜、さいたま、堺、つくば、熊谷、名古屋など)／警察署(茨城、埼玉、千葉)／愛知県陶磁資料館

【独立行政法人など】

日本音楽著作権協会／海洋研究開発機構／鉄道建設・運輸施設整備支援機構／新エネルギー・産業技術総合開発機構／日本司法支援センター／筑波大学／京都大学／千葉大学

入学案内

入学定員 1 学年 80 名（国費留学生は別枠）／編入 10 名

1	推薦入試	募集人員 16 名 試験時期 11 月下旬 試験科目 小論文および面接
2	一般入試	募集人員 前期 64 名 試験時期 大学入試センター試験…… 1 月中旬 個別学力検査… 前期 2 月下旬 ▼ 個別学力検査の試験科目 前期 ●外国語 (英 [英 II・リーディング・ライティング]、独、仏、中の中から 1 科目を事前選択) ●数学 (数 II・数 B)、国語 (現代文・古典)、 地理歴史 (世界史 B、日本史 B から 1 科目を選択) の中から 1 教科を事前選択
3	私費外国人留学生入試	募集人員 若干名 試験時期 2 月下旬 試験科目 小論文および面接
4	帰国生徒特別入試 (10 月入学)	募集人員 若干名 試験時期 7 月 試験科目 小論文および面接
5	編入学試験	募集人員 10 名 試験科目 2 月下旬 試験科目 各主専攻分野の専門科目、外国語および面接
問い合わせ先		筑波大学 教育推進部 入試課 入試第一係 Tel. 029-853-6007 なお、募集要項の発表は、毎年 9 月下旬です。 ※詳細は以下の URL まで http://www.tsukuba.ac.jp/general/index.html http://www.tsukuba.ac.jp/admission/index.html



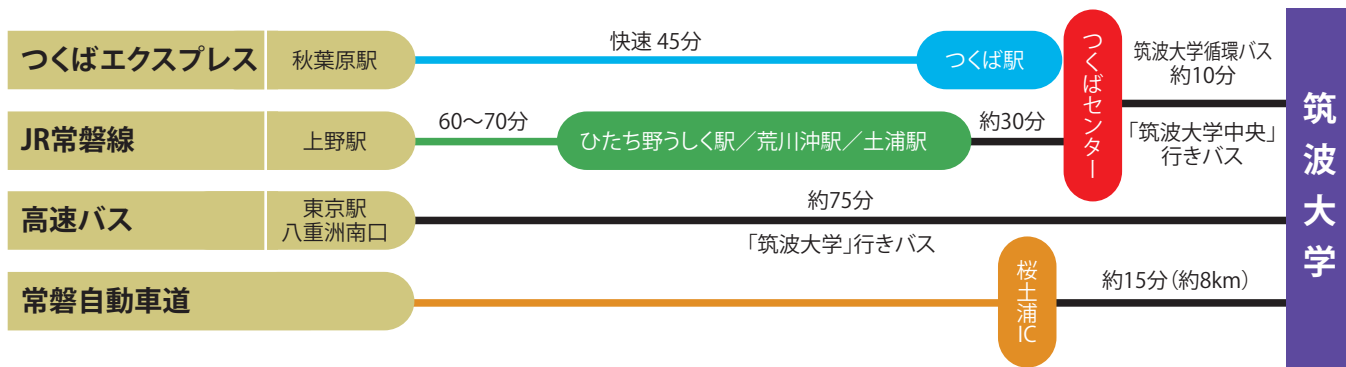
筑波大学社会学類案内誌

社会学類への招待

2013 年 7 月 5 日 初版一刷発行 禁無断転載

編集委員	学類長：篠塚 友一 社会学類広報委員：崔 宰 栄 (委員長)、奥山 敏雄、守田 智保子、福住 多一
企画・編集	社会学類広報委員会
デザイン	松澤 康行
写真	小沼 渉
発行	筑波大学社会・国際学群社会学類 〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1 http://shakai.tsukuba.ac.jp/
印刷・製本	株式会社いなもと印刷

交通案内



筑波研究学園都市



社会学類 への 招待

**A Guide to
College of Social Sciences,
University of Tsukuba**